

# 信頼性加速試験の進め方とその留意点

## ～ワイブル解析の演習付き～

1名分料金で  
2人目無料

- ◆日時:2018年10月10日(水) 10:30~16:30
- ◆会場:ウインクあいち 10F 1005
- ◆聴講料:1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師:富士ゼロックスアドバンステクノロジー(株) 評価技術開発統括部 シニアアドバイザー 原田 文明 氏

#### 《受講対象》

メーカーなどの技術者、研究者、信頼性技術者および品質管理担当者。

#### 《講座の趣旨》

新製品開発において、長い時間が必要となる信頼性試験は、開発期間への影響が大きく、加速試験の活用が求められます。加速試験は通常よりも厳しい条件を設ける事で、短期間に信頼性を確認するもので、その条件や方法が注目されますが、本来の狙いは、効率的な開発のために、故障解析などのノウハウを活用して技術課題の早期改善につなげるものです。

信頼性は時間という要素を持つ品質特性で、その範囲はディペンダビリティ(総合信頼性)として安全や保全性などへと拡大しています。そのため、加速試験も効率的な製品開発という観点から、その特徴と基本を踏まえた運用が求められます。

この講座では実務者を対象に、信頼性と加速試験の考え方について基本的なモデルとデータ解析方法を交えて解説し、実際の進め方や注意すべきポイントについて紹介します。

#### 《プログラム》

##### 1. 品質保証と信頼性

- 1-1.企業競争力と品質保証
- 1-2.時間依存の品質、ディペンダビリティ(総合信頼性)の特徴
- 1-3.信頼性の役割と基礎概念

##### 2. 信頼性をどうつくるか

- 2-1.信頼性の設計・評価と試験の役割
- 2-2.定型的な信頼性試験と非定型的試験が必要な理由
- 2-3.最小の試験規模、サンプル数の決め方(演習付き)
- 2-4.信頼性データの特徴と解析上の注意
- 2-5.寿命データの解析(ワイブル解析)(演習つき)

##### 3. 加速試験の概念と役割

- 3-1.信頼性試験/加速試験の種類と注意点
- 3-2.加速試験が必要とされる理由
- 3-3.定量的な加速試験と質的な加速試験
- 3-4.加速試験のメリットと限界
- 3-5.信頼性加速試験の国際規格(IEC62506)の概要

##### 4. 加速試験の種類と注意点

- 4-1.タイプ別の加速試験と実施時期
- 4-2.信頼性予測とモデルの活用
- 4-3.数理的なモデルの活用
- 4-4.故障物理モデルの活用(アレニウスモデル、SSモデル他)
- 4-5.演習

##### 5. 加速試験の進め方の実際

- 5-1.機器の加速試験の特徴と実際
- 5-2.部品の加速試験の役割
- 5-3.活用事例と推進上で気をつけるべきこと
- 5-4.信頼性の設計と評価における加速試験の活用とポイント(演習)
- 5-5.信頼性と安全作りに向けて

【質疑応答・名刺交換】

### 『信頼性加速試験』【名古屋開催】セミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

#### ● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要な事項をご明記の上、FAXにてお送りください。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>